

目次

病院長挨拶 01

職員紹介 02

医療機器購入 03

年末年始のご案内 04

“真夏の朝の夢”

まずは、コロナ禍の影響が上半期どうなったかのご報告です。本院の4-6月と7-8月の各期間の入院収益は前年比▲4.7%から▲0.7%と回復傾向が明らかです。しかし、患者数は▲11.8%から▲9.3%と元には回復していません。下半期、私たちはコロナ対策に万全を期する一方で、通常診療も全開したいと望んでいます。

今、地方独立行政法人の第3期中期計画を立案する時期です。我々は、どのような病院を目指したいか？ある真夏の土曜の朝、本院の管理職員が集まって話しあいました。みんなの思いは、①職員が生き生きと、元気に、笑顔で働き、お互いの連携が良い、余裕がある病院 ②その結果、患者・家族の皆様が入院して本当に良かったと思ってくれる、自慢できる病院 ③差しあたっては、総合診療医の確保や産婦人科の再開、救急医療体制の整備が課題 ④中長期的には、放射線治療や高い専門性のある医療を提供できる病院 ⑤そのためにも、黒字を確保して、新たな設備投資が可能となる病院を“夢見ている”ことがわかりました。その他、自由な発想で提起された様々な構想には、職員(タニタ)食堂、職員用スポーツジム、高齢者やペットの預かりサービス、予防医学センター専用施設、AI(人工知能)やダビンチ(手術用ロボット)の導入、病院から町づくりと夢は広がるばかりでした。



職員が自由に自分の夢を語り、それが推進力となって新小山市市民病院の未来を切り開いて行く、それこそが我々の目指すオンリーワンホスピタルであることを改めて感じました。

令和2年12月

新小山市市民病院 理事長・病院長 島田和幸

TOPICS

コンテナ診察室を設置

当院では発熱患者さんの対応をするための診察室として、8月から救急入口前にコンテナ1基を設置、また10月からインフルエンザ等の対応も鑑み2基を増設しました。発熱患者さんの導線を分けし、重症患者さんと新型コロナウイルス感染症疑い患者さんが混在しないように努めております。「感染しない・感染させない」意識をもって対応していきます。



車椅子・ストレッチャーにも対応したスロープ付き



10月に増設したコンテナ2基



診察室は全て陰圧装置が設置されています。



診察室内部

医師・
看護職員を
募集しています。

私たちと一緒に
働きませんか

院内保育所も整備されています。ご連絡をお待ちしております。

① 医師

地域医療に興味のある方、そろそろ地元に戻ろうとお考えの方はぜひ一度お問い合わせください。

② 看護職員・介護福祉士

2020年度第4回採用試験
試験日：2月18日(木)
対象者：看護師
応募期間：
12月7日(月)～2月4日(木)
採用日：2021年4月1日

③ 看護師(臨時職員)

④ 予防医学センター勤務
保健師(正職員)
保健師(臨時職員)

※各職、詳細につきましては下記までお問い合わせください。

〈お問い合わせ先〉

人事課 ☎36-0285

地方独立行政法人
新小山市市民病院

〒323-0827
栃木県小山市神鳥谷2251番地1

☎0285-36-0200(代表)

↑ <http://hospital-shinoyama.jp/>

看護師採用サイト <http://hospital-shinoyama.jp/nurse/>

↑ <https://www.facebook.com/shinoyama.city.hospital>



新採用職員のご紹介(10月採用)～①所属②出身地③趣味④専門分野(疾患)について⑤ひとこと～

腎臓内科 部長

増田 貴博

- ①所属 腎臓内科・人工透析科
- ②出身地 栃木県矢板市
- ③趣味 料理・ジョギング
- ④専門分野(疾患)について 腎疾患全般(特に糖尿病合併の腎臓病)、透析
- ⑤ひとこと 皆様のお力になれるよう頑張ります。

皮膚科 部長

塚田 鏡寿

- ①所属 皮膚科
- ②出身地 栃木県小山市
- ③趣味 ゴルフ・食べること・子供と遊ぶこと
- ④専門分野(疾患)について 皮膚科全般ですが、特に皮膚外科領域(皮膚腫瘍、皮膚軟部組織感染症など)はぜひご相談ください。
- ⑤ひとこと ようやく小山に戻ってきました。小山の医療に精一杯貢献させていただきます。

外科 副部長

利府 数馬

- ①所属 外科
- ②出身地 栃木県那須塩原市
- ③趣味 テニス・ランニング・ゴルフ
- ④専門分野(疾患)について 消化器一般外科
- ⑤ひとこと 地域の消化器および外科診療に貢献できるように頑張ります。

腎臓内科 医員

三浦 麻里菜

- ①所属 腎臓内科
- ②出身地 鳥取県
- ③趣味 グルメ
- ④専門分野(疾患)について 腎臓内科、透析
- ⑤ひとこと 地域の皆様に貢献できるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いたします。

神経内科 医員

平野 秀哉

- ①所属 神経内科
- ②出身地 栃木県小山市
- ③趣味 読書
- ④専門分野(疾患)について 声が出にくい、手足に力が入らない、急に意識が悪くなった等の症状が出た際にはできるだけ早く受診してください。
- ⑤ひとこと 日常の診療から、日々新たな学びを得られるよう心がけます。

看護師

東郷 佳歩

- ①所属 3B病棟
- ②出身地 群馬県
- ③趣味 ピアノ
- ⑤ひとこと いつでも笑顔を決やせずに頑張ります。

看護師

渡邊 浩平

- ①所属 3B病棟
- ②出身地 結城市
- ③趣味 サッカー
- ⑤ひとこと 皆様が安心と笑顔になれるよう頑張ります。

臨床検査技師

松尾 美智子

- ①所属 臨床検査部門
- ②出身地 新潟県
- ③趣味 映画鑑賞・ジョギング
- ⑤ひとこと エコーや心電図など生理検査に長年従事してきました。微力ながら即戦力となるように精一杯頑張ります。

看護師

渡邊 のどか

- ①所属 看護部
- ②出身地 下野市
- ③趣味 映画鑑賞、カラオケ
- ⑤ひとこと 1日でも早く仕事になれて、戦力となるよう頑張ります。

新型コロナウイルス感染症対策機器を購入しました

新型コロナウイルスの感染者数が日々増加するなか、皆さんは毎日のように「PCR 検査」、「抗体検査」、「抗原検査」と様々な検査名を耳にする機会があるのではないのでしょうか。そうした状況下において、当院でも、発熱患者さんに対応するための診察室やトピックスでも紹介しましたコンテナを設置致しました。また、新型コロナウイルス感染を確認するための機器も新たに導入しましたので、簡単にご紹介させていただきます。

●LAMP 法

PCR 法と同様に検体から RNA(核酸)を検出する核酸増幅法です。新型コロナウイルス遺伝子検出までの工程を1ステップ・一定温度で実施できるため、PCR 法に比べ増幅効果が高く短時間で検出できます。鼻咽頭拭い液や唾液で検査を行います。



●ルミパルス(抗原定量法)

化学発光酵素免疫測定法により、新型コロナウイルス抗原の量を高感度かつ定量的に測定することが出来ます。主に鼻咽頭拭い液で検査を行います。



今後の新型コロナウイルス感染拡大に備え、新型コロナウイルス感染疑いの患者さんが来られた時のために、市民の皆様引き続き安全安心な医療が提供できるよう検査の準備をしています。

小山市近郊地域医療連携協議会 セミナーを開催しました(同時 WEB 配信)

8月27日に『認知症を通じて、誰もが自分らしく生きることを考える』～ 医師として家族としての思いを語る ～ を表題として精神科医である長谷川洋先生のセミナーを行いました。長谷川先生は、認知症診断の礎となった「長谷川式簡易知能評価スケール」の開発者である長谷川 和夫先生のご息であり、現在も和夫先生とともに認知症研究に励んでおられます。



小山市近郊14病院の医療従事者が参加するこのセミナーは、参加人数の制限のほか zoom による配信を同時に行なうなどして新型コロナウイルスの感染を考慮し開催しました。

セミナーは長年認知症研究を行ってきた長谷川和夫氏が認知症を患ったことなどを、医師としてまた家族としての思いを語っていただき、参加者は改めて認知症患者との関わりかたを理解していました。コロナウイルスとの共存を考えていく中、私たち日本人として問題視されている病気との関わりかたなど、まさにぴったりの内容の講義であったと思います。大変貴重な収穫の多いセミナーとなりました。



新型コロナウイルス感染症に関する 講演会が開催されました

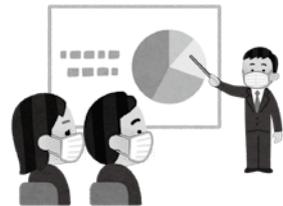
10月18日(日)に、新型コロナウイルス感染症に関する講演会が小山市健康医療介護総合支援センターにて開催されました。

この講演会は、新型コロナウイルスの感染拡大を鑑み、毎年実施していた「新小山市民病院ふれあい祭り」の代替企画として実施したものです。講師は、自治医科大学附属病院感染制御部長の森澤雄司准教授と当院の院内感染対策室室長渡辺明美で、講演会時点での新型コロナウイルスに関する状況と当院での感染対策についての講演を行いました。

50名の完全予約制でほぼ満席となり、参加された方は熱心に聴講され、また会場入り口付近に展示していた手作りの感染防止のガウンや手洗い方法、検体採取の動画などをご覧になっておられました。

また、当日は当院公式 Facebook ページで LIVE 配信を実施し、多くの方にご視聴いただきました。会場参加人数を制限させていただいた中で、LIVE 配信は当院初の試みでしたが、今後も密になる状況を避けながらも、多くの方が参加できる方法を模索していければと思います。

来年は、何とか「ふれあい祭り」を開催できればと考えておりますが、今後も引き続き市民の皆さんと触れ合える機会、病院を知って頂く機会を充実させ継続していきたいと思っております。



年末年始における診療のごあんない

12/29(火)～1/3(日)の6日間は外来診療(救急を除く)をお休みさせていただきます。なお、救急外来は二次救急(入院や手術を要する重症な患者さん)を原則として受け入れております。そのため、救急の受入状況によって診療できない場合がございますので、緊急時に直接来院される場合には必ず事前に下記電話番号までお問い合わせください。



救急外来・休日夜間受付 0285-36-0290



また、一次救急(入院までに至らない比較的軽症な患者さん)の場合には、まずは夜間休日急患診療所(TEL:0285-39-8880)もしくは一次救急医療機関当番病院(小山市広報参照)にお問い合わせください。

※診察券(お持ちの方)・保険証・医療受給証など(お持ちの方)・
紹介状(他の医院、病院からの方)をお持ちになって、ご来院ください。

